

京都芸術センター

アーティスト・イン・レジデンス プログラム 2026

ビジュアル・アーツ部門

京都芸術センターのアーティスト・イン・レジデンスプログラムでは、異なる文化に触れることで新しい芸術表現を生み出そうとする新進のアーティストや芸術分野の研究者の滞在創作活動を支援します。参加者は京都芸術センターを拠点に、制作・調査・研究などに取り組みます。

本プログラムでは、パフォーミング・アーツとビジュアル・アーツの分野から参加者を隔年で募集します。2026年度はビジュアル・アーツ分野が対象です。それぞれのジャンルの中で、あるいはジャンルを超えて、新しい表現を試み、市民に刺激を与える意欲的な芸術家を歓迎します。

1 応募資格

◎ビジュアル・アーツの分野で活躍する新進のアーティストまたは研究者で、京都に滞在し、制作・調査研究などを行う理由が明確な方。

※文学、クロス・ジャンルの方は毎年応募可

◎参加期間中、市民との交流事業を企画し実施できる方。

◎英語または日本語で意志の疎通ができる方。

2 支援内容

◎滞在期間中の宿泊場所を提供(原則3カ月以内)

◎京都芸術センターの制作室を提供

◎居住地から関西国際空港もしくは大阪国際空港までの往復航空券

◎制作費として、1件(個人・グループを問わず)につき、20万円(内税)の補助

◎広報協力

◎アートコーディネーターによるサポート

3 滞在期間

2026年4月1日(水)から2027年3月31日(水)の間の3ヶ月以内

4 応募方法

◎まず、この用紙の下部の応募用紙の全ての項目を日本語または英語で記入してください。

◎次に、下記のリンクから応募フォームにアクセスし、全ての項目を記入し、記入済みの応募用紙を添付ファイルの欄に追加の上、受付期間内に応募エントリーを完了してください。

応募フォーム: <https://forms.gle/cvbpyGdgJVqxMLgb7>

◎フォームにアクセスできない場合は、以下のメールアドレスにお問い合わせください。

E-mail: residence [at] kac.or.jp

* [at] を @に変更してメールを送付してください。

◎作品資料として、過去作品もしくは制作の様子がわかる画像または映像等のURL(ダウンロードリンクは不可。必ずオンライン上で参照できるものであること)を、最大3件まで応募用紙の所定の欄に記入してください。

◎作品資料の画像・映像ファイルを直接フォームに添付しないでください。

◎研究者の方は、必ず論文またはそれに準じるもののURLを記入してください。

◎応募フォームは電子機器によるタイピングで記入してください。記入事項に不備がある書類は審査の対象となりません。

◎応募フォームの最後の欄にポートフォリオを添付してください。ファイル名は「Portfolio_氏名」としてください。

5 応募受付期間

2025年6月30日(月)ー8月31日(日) 日本時間23:59【必着】

※期間外の応募は受け付けません

6 選考と結果

専門家で構成する選考委員会で決定し、応募者に通知します(2025年11月予定)。なお、選考についての問合せは受け付けておりません。

7 注意事項

- ◎食費、アーティストフィー、その他生活にかかる諸費用は支給しません。
- ◎制作および調査研究などに必要なものは各自で用意してください。
- ◎滞在制作終了後、レポートを提出していただきます。
- ◎制作アシスタントや家族などの同伴者とともに渡航する場合は、必ず事前にご相談ください。なお、支援内容はアーティストにのみ適用されます。
- ◎滞在期間中の事故・病気など、不測の事態が起こった場合、参加者の責任によるものとします。旅行保険への加入を推奨します。

8 応募・問合せ

京都芸術センター アーティスト・イン・レジデンス プログラム係

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2

TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004

WEB: <http://www.kac.or.jp>

E-mail: residence@kac.or.jp

※受付時間: 午前 10:00-午後 6:00

(臨時休館日がある場合がございます)

応募者名(グループ名):

京都芸術センター アーティスト・イン・レジデンス 2026 応募フォーム

① アーティスト・ステートメント(800 字以内)

② 制作・調査研究の概要(制作・研究スケジュールを含めて具体的に記入してください/ 800 字以内)

応募者名(グループ名):

③ ②を京都芸術センターで実施する理由(具体的に記入してください/ 600字以内)

④ 滞在中に実施する市民との交流事業計画

(例: ワークショップ、レクチャー、オープンスタジオ等/ 400字以内)

⑤ 過去作品もしくは制作の様子がわかる動画または音源のウェブリンク (3点以内)

※研究者は論文もしくはそれに準じるものを記載